

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

社会基盤の整備に参加し豊かな人間環境づくりに貢献。人の和をはかり従業員の幸福と生き甲斐を求める。未来を見つめ技術開発により強い会社を目指す。

連結売上高
365億円

連結売上高
400億円

連結営業利益
17億円

連結営業利益
22億円

② 中長期の経営戦略

1. 事業戦略

主力事業の振興軌道強化。基礎事業では中掘工法販売強化・ICT施工管理推進・摩擦杭対応。下水道関連事業ではトータルソリューション・耐震化・メンテナンス領域拡大。

3. ESG戦略

2030年に向けたCO2削減。e-CON事業立ち上げによる脱炭素社会実現への貢献。コンクリートテクノロジーをもって安全・安心で脱炭素な社会に貢献。

2. 財務戦略

プレキャスト製造投資・e-CON事業投資・カーボンニュートラル設備投資・デジタル化・省力化に注力。営業利益追求と安定配当向上でバランスある株主還元を実施。

4. 4つの重点分野

脱炭素・環境貢献への挑戦。100年インフラを支える維持管理サービス提供。デジタルとロボティクスによる構造改革。次世代を担う人づくりと共創型組織への転換。

③ 対処すべき課題

① 経営環境への対応

- ・物価上昇とアメリカ通商政策の不透明性に対応
- ・2025年度に最終年度の経営目標値を前倒し達成を目指す
- ・市場構造変化への事業構造改革推進

② サステナビリティ実現

- ・セメントレスコンクリートe-CON®の2025年1月e-CON協会設立で普及促進
- ・2030年・2050年温室効果ガス削減目標達成に向けた取組み
- ・CP-X工法®による施工時CO2削減

③ 社会基盤維持管理

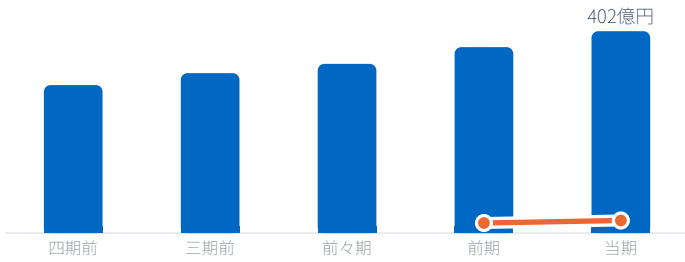
- ・老朽化進む下水道インフラの補修・更生・更新対応強化
- ・100年ヒューム管による次世代社会インフラの提案
- ・点検から補修・更新までをワンストップで提供する体制構築

面接で使えるポイント

- ・2025年創立100周年を通過点に200年企業へ向けた『継承と新化』で成長軌道構築する取組み
- ・セメントレスコンクリートe-CON®と東京都下水道サービス株との共同開発で脱炭素社会実現に貢献
- ・Pile-ViMSys®などICT施工管理ツールで『インフラをつくる』から『インフラを未来につなぐ』会社への進化

証券コード 5262

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
402億円営業利益率
6.3%財務健康度
64点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 56.1（当サイト算出の参考指標）

要するに

1925年設立の建設・資材関連企業

主力事業・セグメント

- Foundation 60.5%
- SewerageRelated 35.8%
- Solar電力Generatio 3.7%

強み・特徴（公開データから）

- 将来性評価は晴れ時々曇り
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

平均年収
690万円

ガラス・土石製品内 26位/47社

平均年齢
44.07歳

ガラス・土石製品内 18位/47社

平均勤続
16.08年

ガラス・土石製品内 26位/47社

女性管理職
3.3%

ガラス・土石製品内 26位/39社

男性育休
60.0%

ガラス・土石製品内 28位/38社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日本ヒューム(株)【5262】：決算情報

